

絵画鑑賞にタブレット端末を

校長 吉田 隆

今年度の展覧会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、昨年度に引き続き、平面作品のみの展示としました。また、同時開催のPTAバザーについても、食事のコーナーは設けず、テイクアウトのみとしました。

しかし、販売品の豊富な品数と保護者の皆さんの笑顔の接客は、あたかも、

グルメイイベントの会場でした。ワクワクする時間を提供いただいたことに、感謝を申し上げます。

そして、展覧会にも昨年度とは違う、新たな試みがありました。それは、子どもたちの絵画鑑賞にタブレットを活用したことです。

例年、探検バツ

クを持ちながら、鑑賞カードに自分が気に入った作品名と、その感想を書き止める方式でした。今年度は、タブレットのカメラ機能を用いて、

感性と論理の関係のように、一見縁遠いと思われそうですが、このように活用すれば、タブレットは子どもたちの感性を刺激する道具にもなり得ます。新しい時代の授業づくりに向けて、これからも、新たな取組に挑んでまいります。



色・形・イメージ(使っている視点に○をつけましょう)

左のネズミが今度こそ勝つぞというイメージで
右のネズミがかかってこいと言っているみたいな
イメージがよいなと思いました。

絵画の写真を撮り、その作品のよいと思ったことを書き込み(または打ち込み)、保存する方式です。ご覧の文章は四年生の子どもたちの感想です。色と形とイメージという鑑賞の視点から、五感を通してそれぞれの絵画の良さを感じ取っています。

タブレットに保存した絵画は、何度も繰り返し見ることができ、細かい部分は拡大することもできます。色も実物と遜色のない鮮明さです。

図画工作の授業と

ICT機器の活用は



色・形・イメージ(使っている視点に○をつけましょう)

題名に「静かな」というワードが入っていて、背景の色がオレンジで静かだと思いました。いろいろな色の木の葉っぱを点々で表していて綺麗だと思いました。水に木が映っていてとても上手だと思いました。

静かな森の夕暮れ